

2012年 地質の日記念イベント！！開催報告

街中ジオ散歩 in Tokyo

「身近な地層や岩石を知ろう」

事業企画委員会

1. まえがき

事業企画委員会では、日本地質学会との共催で、標記の徒歩見学会を今年の5月13日（土）に開催しました。

毎年5月10日は地質の日です。5月10日は、明治9年（1876）、ライマンらによって日本で初めて広域的な地質図、200万分の1「日本蝦夷地質要略之図」が作成された日です。また、明治11年（1878）のこの日は、地質の調査を扱う組織（内務省地理局地質課）が定められた日でもあります。近年この地質の日にちなんで様々な機関で記念イベントが開かれており、当学会でも、東京都内の徒歩見学をしたものです。



図1 地質の日の徒歩ルート

日時：平成24年5月13日（土曜日）

参加者数：32名（うち小学生2名）

コース：10:00 東京駅集合→旧丸ビル基礎の松杭→三菱1号館歴史資料室→丸の内の地盤沈下跡→稲田花崗岩のビル→伊豆の安山岩の石垣→日比谷図書文化館（千代田区の自然人文地理）（公園内で昼食）→三宅坂の水準原点→黒髪島石と尾立石の国会議事堂→玉川上水とお濠の地形水文→一番町の地中熱利用実例ビル見学→東京メトロ半蔵門駅解散 16:00 すぎ

講師：中山俊雄氏（日本地質学会）、
奥村興平氏（日本応用地質学会）
幹事：飛田健二・長谷川貴志・緒方信一、
斎藤眞（日本地質学会）

2. 街中ジオ散歩の状況

当日は晴天に恵まれ、参加者一同、定時よりも前に集合が完了し、楽しく出発しました。午前中は、明治の先人たちの先見性と行動力、丸の内を支えた松杭の大きさと新鮮さ、日比谷の地盤沈下の証拠、日比谷入江のなごりに驚き、午後は、水準原点周囲の一等水準点の宝探し、全国から集められた国会議事堂花崗岩、地形地質をうまく利用したお濠の仕組み、発展しつつ有る地中熱利用の実証サイトに感心し、足の疲れも忘れる、気持ちはリラックス、行程は盛り沢山の会でした。以下、写真を御覧ください。



写真1 stop1 旧丸ビル基礎の松杭



写真2 stop2 三菱1号館歴史資料室と周辺



写真3 stop3 丸の内の地盤沈下跡



写真4 stop4 日比谷公園 貨幣石

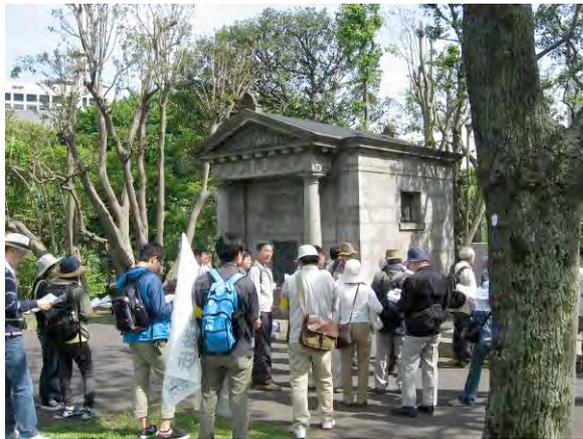


写真5 stop5 三宅坂水準原点と原点を守る四天王？一等水準点（甲乙丙丁戊の5点）



写真6 stop6 国会議事堂の花崗岩



写真7 stop7 お濠の地形水文



写真8 stop8 地中熱利用実例ビル見学

3. 参加者の方々の声

これまでの見学会は学術的なものが多かつ

たのですが、このような「ゆるい？」徒歩見学会は、参加者の方々にどのように映ったでしょうか。聞いて見ました。

私は人文地理学が専門で地質学系のフィールドワークに参加したことは初めてでしたがとても興味深く新鮮な巡検でした。見学するものが同じでも切り口を変えると見えていたものがまったく違うものになる感じが心地よいものでした。自然環境と人間の関わりが見える巡検で、特に江戸城の堀の作り方が興味深いものでした。歴史的なものが絡むと奥深い面白さを感じられました。巡検のスタッフも非常に親切丁寧で解説も解りやすく楽しい一日でした。ぜひ今後もこのようなフィールドワークを企画して頂けたら嬉しい限りです。

(竹林和彦さん、高校の先生)

五月晴れの日曜日、わくわくしながら散歩が始まり、旧丸ビルの松杭見学、明治時代に5443本！を打ち込んだ事実で脱帽。道すがら江戸時代の大名屋敷から今に続く丸の内の歴史を教わり、まさにその地に立つことに感激。今までは素敵なビルに目を引かれ上ばかり見ていた日比谷付近も、歩道の地盤沈下を知り、今後は足元の亀裂を探してしまいそう。旧丸ビルの杭の多さに驚いたが、ここまで来ると本当に軟弱な地盤なのだと言点。旧第一生命館では戦後の歴史に触れ、一方、御影石の線量って高いんだ〜と驚き。日比谷公園の標高記号が刻まれた踏み石、三宅坂では水準原点の下を地下鉄が通っていること、東日本大震災で24mm沈み原点数値が改定されたこと、これから標高24.3900mの標識を見る度、きっと今日のことを思い出すだろう。皇居のお堀の水位には不思議を感じつつみんなの知恵と技術で水質がきれいになることを期待しながら通過。一番町笹田ビルの地中熱利用に驚き、地面の下の不思議を満喫できた一日となりました。

中山先生、奥村先生には6時間にわたり丁寧

なご説明を頂きありがとうございました。国会議事堂の後、1箇所行こうとされて引き返した場所が気になっています。又、機会がありましたらよろしく願いいたします。

来年もこの会が開催されることを期待します。

(山野辺久美子さん、会社員)

今回初参加でしたが、雰囲気も良く、専門の方が案内者(講師)のお二人以外にも、いらっしゃったので質問しやすいのが良かったです。そのため話の内容が偏らず、幅広い話を聞くことができました。ただ、何を専門にされてる方かまでは詳しく分からなかったのは残念でした。最初の集合時に簡単な自己紹介をして頂けると、ありがたかったです。またこのような身近な地質や地形の見学会があれば参加したいと思いました。(実物を見ないと分からないことが多いので)このような勉強する機会を設けて頂きありがとうございました。

(那木暢子さん、会社員)

地質だけでなく、東京の歴史も学べ、非常に勉強になりました。また普段気にしていないところに存在する街中の地質現象を把握し、今後は意識していこうと思います。個人的には、企画として時間・距離ともに適切であったと感じました。また新エネルギー(地中熱利用)の見学までできて非常に満足いくものでした。今後、同様の企画がありましたら、また参加させていただきたいと思います。

(杉山直也さん、会社員)

3. あとがき

以上盛り沢山の見学会でしたが、この研修会の開催にあたって、中山俊雄氏、奥村興平氏、独立行政法人産業技術総合研究所、一般社団法人東京都地質調査業協会、NPO法人地中熱利用促進協会の方々、見学を許していただいたビルや展示館の方々には大変お世話になりました。最後になりましたが改めて心から感謝申し上げ

げます。

(文責：緒方信一・斎藤眞・飛田健二・長谷川貴史)



千代田区立日比谷図書文化館での見学後、記念写真！